

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

建設整備事業

事務事業の段階

計画 事業化 事業 管理

政策名	4 環境にやさしい港	23年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)			責任者	港営部 担当課長(プレジャー ボート対策担当)
基本施策名	06 秩序ある港湾環境づくり	事務事業	成果	コスト	連絡先	052-654-7864
個別施策名	20 放置艇対策を推進する	継続	維持	維持	連携課	
事務事業名	03 プレジャーボート暫定係留保管区域・施設の確保					
目的	放置等の状態にあるプレジャーボートの暫定的な係留保管場所を確保します。				事業 期間	平成13年度～一 ※「その他特記事項」
概要	放置等の状態にあるプレジャーボートを收容する恒久係留保管施設を整備・確保するまで、暫定的に係留保管できる区域・施設を設置し、秩序ある係留保管を目指します。そのため、設置に向けて関係機関や利用者等との調整を行います。				根拠 法令等	
					実施 義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
平成25年度の 実施予定	他港調査結果を整理し、暫定係留保管区域指定に向けて関係行政団体と問題点及び諸課題について意見調整をし、合意形成を進めていく予定です。				関連 シート	

2 DO(実施)

平成25年度に 実施した 内容・結果	他港調査結果を整理し、暫定係留保管区域指定に向けての問題点及び諸課題について、関係行政団体と打合せ・調整等を行いました。							
コスト(年度)	単位	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績)	25(実績見込み)	合計	備考(款項目節等)
事業費 計	千円	24	17	86	91	104	322	(款項目節) 港営費/港営管理費/港客総務費/①観償費、②旅費、③食糧費、 ④使用料及び賃借料、⑤負担金・補助金及び交付金
一般会計	千円	24	17	86	91	104	322	(算出計算式) ①12,600円×2名×2回=50,400円 ②(580円×1名×2回)+(1,160円×1名×2回)=3,480円 ③23,800円1名)+(37,860円1名)+(18,200円1名)+(17,900円1 名)=97,820円 ④2,500円+3,000円=5,500円 ⑤(11,200円×1回)+(9,200円×1回)+(2,750円×2回)=25,900 円 ⑥(10,000円×2回)+(3,000円×1回)=23,000円 計①+②+③+④+⑤+⑥=206,100円-1/2=103,050円(個20事03 (その他)
事業会計	千円							
その他	千円							
人員費 計	千円	14,961	13,210	14,925	13,195	3,282	59,573	
正規職員	人	1.40	1.20	1.40	1.20	0.20		
嘱託職員	人	0.70	0.70	0.70	0.70	0.40		
合計	千円	14,985	13,227	15,011	13,286	3,386	59,895	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	21	22	23	24	25	最終目標	-	備考(指標の算定方法など)
関係機関や利用者 等との合意形成への 調整回数(回)	目標	-	-	-	-	-	-	-	合意形成への調整回数を判断 の指数とします。
	実績	5	2	12	18	21			
	達成率(単年度%)	-	-	-	-	-			
暫定係留保管区域・ 施設の設定への進 捗率(%)	目標	15.0	25.0	10.0	10.0	10.0	(累計)100		全体予定は5箇所、25年度に3 箇所を目標とした進捗率を判断 の指数とします。
	実績	10.0	25.0	100.0	100.0	50.0			
	達成率(単年度%)	66.7	100.0	100.0	100.0	50.0			
平成25年度までを総括した 必要性・有効性・効率性の確認	判断理由(課題の抽出)						その他特記事項		
必要性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×	港湾法等法令に定められた事務であり、本組合が関与することとなっています。						
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×							
	本組合が関与の必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×							
有効性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×							
	目標を達成したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×	港湾法等法令に定められた事務であり、目標の達成及び個別施策への貢献については関係機関との調整途上です。						
	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×							
効率性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×	他港調査として、他港への視察やプレジャーボート関係の研究会への参加の他インターネット、電話を通じて、広く多くの情報を収集しており、最小のコストで成果をあげています。受益者に適正に負担させることについては「名古屋港プレジャーボート対策に関する実施計画と展開プラン」にて整理されており、港湾法等法令に定められた事務として本組合が行っています。						
	受益者に適正に負担させているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×							
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×							

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による 今後の取り組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続・統合	➡	➡	・暫定的な係留保管場所の確保に向けて調整を進めていく必要があるため。 ・放置艇対策の推進に係る事業として統合。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取り組み				

他港調査結果を整理し、暫定係留保管区域の施策に対し、関係行政団体と問題点及び諸課題について打合せ、調整等を行う予定です。